



国際ロータリー第2680地区  
**Rotary**  
加古川ロータリークラブ



*Weekly Reports 2018-2019*

2018-19年度 R会長; パリー・ラソン/地区ガバナー; 次野 宗司  
加古川ロータリークラブ会長; 岡田 義則 / 幹事; 水川 典明  
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F  
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成31年 1月29日(火) 晴 No. 27



▲会長の時間



▲田辺職業奉仕委員長



▲加古川はぐるま福祉会  
高井理事長



▲例会の様子



▲施設見学



▲施設見学

会長挨拶

会長 岡田 義則

皆さんこんにちは、本来は10月が職場例会となっていますが、本日まで延期してでも「はぐるまの家」で職場例会をやりたかったのです。田辺職業奉仕委員長ありがとうございました。そして、寒い中、遠方まで大勢のご参加ありがとうございます。

昨年の会長方針の中で申し上げましたが1978年加古川 RC の25周年記念行事として「はぐるまの家」が発足してから本年度で記念すべき40年となる年度なのです。そして実際の設立はRC年度が変わり1979年12月、そして開設は翌1980年4月となりました。開設40周年を迎えるのは実際は2020年4月となります。そのようなことから昨年度、吉田実盛前社会奉仕委員長と一緒にここを訪れ、高井理事長に発足当時のRCメンバーの熱き思いと設立の秘話をお聞きいたしました。そして、昨年度の例会で「はぐるまの家」の卓話を吉田会員が話されたことは皆さんの記憶に新しいことと思います。今日こそ会長の時間を短くして高井理事長に多くを語って頂きたいと思ひます。理事長をはじめ職員の皆さま本日は貴重なお時間を頂き本当にありがとうございます。お世話になります。これで会長の時間を終わります。

## 幹事報告

1) 本日はありません

## ニコニコ



- 省 略 ☺ 職業奉仕、田辺委員長はじめとする委員会の皆様本日はありがとうございます。
- 省 略 ☺ 高井理事長様はじめ、はぐるまの家の皆様、本日はお世話になります。
- 省 略 ☺ 河合会員・穴田会員27日の地区公開職業奉仕委員会への出席ご苦勞様でした。
- 省 略 ☺ 久後委員長はじめ、SAAのメンバーの皆様、駐車場係をして頂いたメンバーの方、寒い中ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 田辺委員長はじめ、職業奉仕委員会のメンバーの皆様本日はご苦勞様です。
- 省 略 ☺ 加古川はぐるま福祉会、高井様、本日はよろしく願いいたします。
- 省 略 ☺ はぐるまの皆様お世話になります。
- 省 略 ☺ 「加古川はぐるま福祉会」のますますの発展をお祈りします。
- 省 略 ☺ このたびは、お世話になります。
- 省 略 ☺ 職場例会楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 穴田さん、松井さん、河合さん、お手伝いいただきありがとうございます。
- 省 略 ☺ 1月28日の神戸新聞夕刊に「長寿の作法」という記事を掲載して頂きました。よろしければご覧下さい。今年の卓話をもとにしています。

以上12件 ¥24,000-  
本年度累計¥1,366,000-

## 出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 75 名 出席 37 名 出席免除 19 名 欠席 19 名 66.07%
- ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 75 名 出席 46 名 出席免除 16 名 欠席 13 名 77.96%
- ☆ メークアップ 加古川中央RC 1/24 木下、正木、河合、前川真、松井、芝本  
釜谷  
公開職業奉仕委員会 1/27 岡田義、河合、穴田

## 親睦活動委員会

- 例会場当番  
2月 5日(火) 船原、五田  
2月12日(火) 橋本真、長谷川昌



## プログラム委員会

本日1月29日(火)	2月5日(火)	2月12日(火)	2月19日(火)
職場例会 社会福祉法人 加古川はぐるま福祉会 「加古川はぐるまの家」 職業奉仕(委)担当	卓話 「ひよっとしたら役に 立つかも知れない 旅の話」 森田 担当	フォーラム 国際奉仕(委)担当	地区大会の 説明会 河合・高浜 担当

## 2月のおよろこび

◆ 誕生日祝 省略

◆ 結婚記念日祝

◆ 出席表彰

◆ 会社創立記念日

## 犯罪から音楽の道へ

青少年犯罪の悪循環を断ち切るための都市平和プロジェクト、PACT プログラムにロータリークラブが協力しています

自分は刑務所に行く。犯罪まみれの人生から抜け出すには、それしかない。アキーム・スティーブソンさんは、人生をどうにか変えたいと必死でした。カナダ・トロント在住の彼は、10年以上さかのぼる10代のある日、加重強盗の容疑で逮捕されました。4度目の逮捕で、刑務所送りになるところでした。しかし裁判官は、彼の中にまだ更生の望みがあると判断し、18カ月間の青少年プログラムに参加するか、6カ月間の刑期を務めるかの選択肢を与えました。

スティーブソンさんは、PACTへの参加を選択。これが彼の人生を変え、音楽の道を開きました。

参加(Participation)、容認(Acknowledgement)、誓い(Commitment)、変容(Transformation)の頭文字をとったPACTは、トロントに拠点を置く慈善事業で、問題児や犯罪歴のある青少年の更生をサポートしています。起業家で地元ロータリアンであるデイビッド・ロケットさんが20年以上も前に共同設立し、現在ではロータリークラブからの支援を受けています。

このプログラムでは、貧困と犯罪行為の悪循環を断ち切ることを目的としています。参加者が何を必要としているかを突き止め、「人生が前向きな方向に進むように手伝い、自分の生活だけではなく、地域社会も豊かなものにできるようにする」戦略を立てることが目標だと、ソーシャルイノベーターズ・ロータリーEクラブ会員であるロケットさんは言います。

PACTは都市部の地域社会に平和をもたらす、とロケットさん。「暴力と犯罪行為の影響に目を向けて、問題がどう起こるのか理解し、問題児を早い段階で支援する非常に効果的な解決策を生み出すのがPACTです。問題児を助けたければ、彼らのシンプルなニーズを理解しなければならない。とても単純なこと」と話します。

過ちを犯す青少年の多くは懲役刑に服することになる、とロケットさん。しかし、親に見捨てられ、「悲惨な人生を送ってきた」人にとって、PACT はさらなる犯罪を阻止し、人生を変えるきっかけとなります。

PACT は裁判所と連携して、効果が得られそうな 12～19 歳のプログラム対象者を特定。青少年に有罪判決が下されると、裁判所は保護観察処分として彼らを PACT に紹介します。

PACT がこれほどの成功を収めてきた秘訣は、**ライフプラン・コーチング・プログラム** (英語サイト) にあります。参加者一人ひとりにライフコーチの担当者がつく強力な介入プログラムです。12～18 カ月間にわたって毎週話し合いを重ね、教育、就職、健康、人間関係、地域社会への貢献、再犯防止の 6 つの主要分野で目標を設定します。ライフコーチングは、ライフコーチとの会話を通じて人生の骨組みと容認を与え、能力と自己理解を高め、自発的な学習と行動を促進するプロセスです。青少年が現状を脱却して理想の未来に近づく手助けをしてくれます。

PACT のライフプラン・コーチングは従来のカウンセリングとは異なり、過去ではなく今と未来に重点を置いている、とロケットさんは説明します。このプログラムは 65% という高い成功率を収めています(ここで言う成功率とは、再犯しないプログラム修了者の率のこと)。

ライフコーチとの会話の中に未来を作り直すためのヒントと自信を見つけた、とスティーブソンさんは言います。「PACT プログラムは考え方を教えてくれるんです」とスティーブソンさん。「ただし、青写真は作ってくれますが、それを実行に移すのは自分です」

それ以降、スティーブソンさんは高校卒業同等資格を取得し、今はコールセンターで働いています。また、**PACT 人生・職業スキル地域社会奉仕プログラム** (英語サイト) で音楽への情熱を見出しました。これは音楽や映画制作、料理、ガーデニング、起業といった実践的な活動を通して学びを得るというプログラムです。

### 思いやりの心を伝える

今日では、トロント地域で 30 クラブ近くが PACT を支援しています。ロケットさんによると、その多くが年間 3,600 ドル以上の支援を行っているそうです。

ロータリークラブは、さらに踏み込んだ支援も行っています。PACT/ロータリー青少年メンタリングプログラムでは、ロータリー会員がプログラム参加者と直接連絡をとっています。

ソーシャルワーカーでウェリントン・ロータリークラブ会員のリズ・ボースマ＝ドノバンさんは、メンターとなる会員を各クラブと連携して探しています。

「PACT のことを知って、いくつかのプロジェクトでロケットさんに協力して以来、ロータリーはもっと有意義なつながりを持つことができるのでは、と思うようになった」とボースマ＝ドノバンさん。「青少年の帰属意識を高める、というのが私たちのやろうとしていることです。自分も地域社会の一員なのだと感じてもらいたいです。そのつながりを感じさせてあげられるのは、ロータリーをおいてほかにありません」

例えば、クラブ会員は PACT 参加者にボランティアの機会を教えてあげたり、運転免許を取る手伝いをしたり、仕事の面接を取りつける手助けをします。

「ロータリー会員は面倒見がよく、思いやりの心がある。そういった資質は若者の人生に変化を起こし、立て直しを図るのに大いに役立ちます」

<b>PACT に参加した青少年の数(2006 年以來)</b>	<b>225</b>
<b>再犯しないプログラム修了者の割合</b>	<b>65パーセント</b>
<b>参加者一人あたりの PACT コスト</b>	<b>\$ 3600</b>
<b>受刑者一人あたりの平均年間収容費</b>	<b>\$ 120, 000</b>